

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成12年1月17日 第42報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	5		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	24		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	13		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	20		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	180		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	30		
(渦) <i>Peridinium berlinense var. apiculatum</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	140		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	59	8.2	8.9
(珪) 珪藻綱	349	48.5	47.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.4	1.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	38.9	30.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	21	2.9	10.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	719	総体積	4.1E+05
種類数	19	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	540

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnopsis cratera</i>	280

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

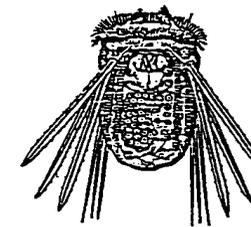
植物プランクトン第1優占種



Nitzschia acicularis
(ササノハケイソウ)
珪藻類

殻は細長く針状になり、両端は尖る。
条線は微弱で見えにくい。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が
4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:
植物プランクトンはニッチア アキクラリスが最も多かった。褐色鞭毛藻のロードモナス レンスが多かったが、この種は琵琶湖では南北湖とも冬期に多く見られる種である。